

# S I A 認定アルペンスキー教師検定実施要綱

## <資料>

S I A スノースポーツ教師検定規程に基づき、検定を行うためにこの実施要綱を定める。  
アルペンスキー・ステージ I

### 1. 種目の特性に応じた基礎理論

#### (1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

#### イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○対象に応じた指導法・技術検定 ○教師の心得 ○作文

#### ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

#### ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

### 2. 実 技

#### (1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

#### イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○プルークボーゲン ○シュテムターン ○パラレルターン・ロング

○基礎パラレルターン・ショート

#### ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

#### ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

### 3. 指導実習

#### (1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

#### イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○指導計画の作成 ○個人指導 ○対象に応じた指導 ○指導実施後の評価

#### ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

#### ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

## アルペンスキー・ステージⅡ

### 1. 種目の特性に応じた基礎理論

#### (1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

##### イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
- 雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
- 対象に応じた指導（障がい者スキー）

##### ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

##### ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

#### (2) 通信講習

##### イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
- 雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
- 対象に応じた指導（障がい者スキー）

##### ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3ヶ月間  
でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

##### ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

### 2. 実 技

#### (1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

##### イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- パラレルターン・ロング ○パラレルターン・ショート ○総合滑降
- ゲート滑降（体験）

##### ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはイグザミネーによって採点し、2名の合計点と  
する。採点は200点満点とする。

※ゲート滑降は体験のみとする。

##### ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

### 3. 指導実習

#### (1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

##### イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 指導計画の作成
- 個人指導
- 集団指導
- 対象に応じた指導
- 指導実施後の評価

##### ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

##### ハ. 合否

140点以上を合格点とする。

### アルペンスキー・ステージⅢ

#### 1. 種目の特性に応じた基礎理論

##### (1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

##### イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語
- スノースポーツ産業の現況
- 施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門
- コンディショニング
- 技術論
- 技術指導法
- スキーの山岳と気象・雪崩

##### ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

##### ハ. 合否

60点以上を合格点とする。

##### (2) 通信講習

##### イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語
- スノースポーツ産業の現況
- 施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門
- コンディショニング
- 技術論
- 技術指導法
- スキーの山岳と気象・雪崩

##### ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3ヶ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

##### ハ. 合否

60点以上を合格点とする。

## 2. 実 技

### (1) 集 合 講 習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

#### イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○パラレルターン・ロング ○ウェーデルン

○総合滑降 ○ジャイアントスラローム

#### ロ. 採点方法

会長が委嘱した3名の講師またはイグザミネーによって採点し、3名の合計点とする。採点は300点満点とする。ただし、ジャイアントスラロームは別に定める方法によって行う。

#### ハ. 合 否

240点以上を合格点とする。ジャイアントスラロームは前走者（S I Aメダル検定のペースメーカー）のS L Tの105%以内を男性の合格とし、女性は115%以内とする。ただし、50歳以上の者は110%以内を男性の合格とし、女性は120%以内とする。

## 3. 指 導 実 習

### (1) 集 合 講 習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

#### イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○指導計画の作成 ○個人指導 ○集団指導 ○対象に応じた指導

○指導実施後の評価

#### ロ. 採点方法

会長が委嘱した3名の講師またはイグザミネーによって採点し、3名の合計点とする。採点は300点満点とする。

#### ハ. 合 否

240点以上を合格点とする。